

埼玉トラック部会第22回総会開催

専従者の配置を含む役員体制を確認。終了後には学習会実施！



埼玉トラック部会総会の参加者

埼玉トラック部会は12月10日(日)13時30分より第22回総会を実施しました。総会では2023年度方針を含めたすべての議案が原案通り確認され、総会以降に配置される専従者の確認と役員体制を確立しました。また、討論では参加する各支部分会の代表者8人が発言し、コロナ禍での活動の悩みや職場でのとりくみ、2024年問題

についての労使協議等について報告されました。最後に奥貫部会長の発声にて団結ガンバロウで締めくくられました。【部会長：奥貫(神田)、副部会長：細川(日生)、事務局長：鈴木(教宣)、事務局次長：白原(専従)】総会終了後には埼玉トラック部会第7回学習会として、「新トラック政策と2024年問題」と題して、全国トラック部会鈴木事務局長が講師を務め、多くの質問を通して政策や24年問題について認識を深めました。

大田貨物班署名第一次集約

裁判継続につき、引き続き署名集約へのご協力を！

関西合同支部大陽液送分会大田貨物班で闘われる偽装請負裁判に対する署名の第一次集約がまとめられ、全国トラック部会に報告がありました。集約数は個人署名1,338筆、団体署名224筆、合計1,562筆となりました。第一次集約分は本日大阪高裁裁判に提出されます。

一方、第一次集約は終了しましたが、裁判継続につき引き続き署名の集約をお願いする次第です。建交労内のすべての支部・分会・班での団体署名や全組合員の個人署名集約に向け、ご協力をお願いいたします。

本日の朝日新聞!



↑戸村委員長

本日12月14日付け朝日新聞朝刊において、建交労福岡運輸支部戸村執行委員長が取材を受けた「2024年問題」の記事が掲載されました。取材は会社からの要請を受け、対応したものです。

トラック運転者の「2024年問題」は社会的な問題として大変注目されています。一方、長時間労働を改善することが運転者不足の深刻化や荷物が届かないなど、過労死等防止や重大事故防止の観点にならないことが問題であると考えます。

